

みずほCustomer Desk Report 2020/09/18 号(As of 2020/09/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	105.04	1.1803	123.97	1.2957	0.7297
SYD-NY High	105.18	1.1853	124.13	1.2998	0.7315
SYD-NY Low	104.53	1.1737	123.33	1.2866	0.7254
NY 5:00 PM	104.73	1.1846	124.11	1.2973	0.7312

NY DOW	27,901.98	▲ 130.40	日本2年債	-0.140	0.00bp
NASDAQ	10,910.28	▲ 140.19	日本10年債	0.010	▲ 1.00bp
S&P	3,357.01	▲ 28.48	米国2年債	0.138	0.00bp
日経平均	23,319.37	▲ 156.16	米国5年債	0.278	▲ 0.48bp
TOPIX	1,638.40	▲ 5.95	米国10年債	0.688	▲ 0.98bp
ｼﾝｺﾞ日経先物	23,260.00	▲ 100.00	独10年債	-0.4930	▲ 1.10bp
ロンドンFT	6,049.92	▲ 28.56	英10年債	0.1845	▲ 2.60bp
DAX	13,208.12	▲ 47.25	豪10年債	0.9110	▲ 0.40bp
ハンセン指数	24,340.85	▲ 384.78	USDJPY 1M Vol	6.20	0.25%
上海総合	3,270.44	▲ 13.49	USDJPY 3M Vol	8.48	0.10%
NY金	1,949.90	▲ 20.60	USDJPY 6M Vol	8.03	0.11%
WTI	40.97	0.81	USDJPY 1M 25RR	-1.20	Yen Call Over
CRB指数	150.781	1.05	EURJPY 3M Vol	8.32	▲ 0.07%
ドルインデックス	92.97	▲ 0.24	EURJPY 6M Vol	8.26	0.01%

東京	東京時間は105.04レベルでオープン。経済成長見通しを引き上げたFOMCの結果を受けてアジア通貨全般にドル買いが入り、一時105.18まで上昇。午後の日銀政策決定会合では金融緩和の維持が発表され、黒田総裁の会見も特段のサプライズはないものの、日経平均の下落や米金利の低下に押されて104.90近辺まで下落し、104.96レベルでクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、104.96レベルでオープン。米株先物が下落する中で円高優勢の展開。104.53まで売られ104.55レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2938レベルでオープン。英時間正午に英中銀の政策発表を控えるポンドは買われて始まり一時1.2982まで上昇。果たして英中銀の政策は据え置きとなったがマイナス金利について議論されたことが公表されると1.2883まで急落。結局1.2903レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では昨日のFOMC内容を受け、リスク回避のドル買いが強まったものの、円買いの勢いの方が強く、その後ドルが売り戻される展開にドル円は104.53まで下落し、104.55レベルでNYオープン。朝方は9月フィデリティ連銀景況指数が予想と一致する一方、新規失業保険申請件数が予想を上回り、8月住宅着工件数も5月以降の反発の反動か予想を下回ったことからドル円は再び104.53を切す。しかし、104.50付近ではビッドも見られ軟調に寄り付いたダウが横ばいまで戻す展開に104.80まで戻す。その後は株式市場は軟化するものの、クロス円が上昇する動きに、ドル円はサポートされ104.84まで戻す。終盤に掛けては、新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続く、104.73レベルでクローズした。一方、昨日のFOMC内容を受け海外市場でドル買いが強まり1.1737まで下落したユーロドルは、その後はドルが売り戻される展開に1.1812まで戻し、1.1802レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、株式市場は軟化する一方ドル売りが優勢となり、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長が英紙に対しEUとUKの貿易協定はまだ可能性があるとの見解を示し、ポンド買い、ドル売りが強まる動きも加わり、ユーロドルは1.1828まで戻す。午後ドル売りが継続したことから1.1853まで戻し、1.1846レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

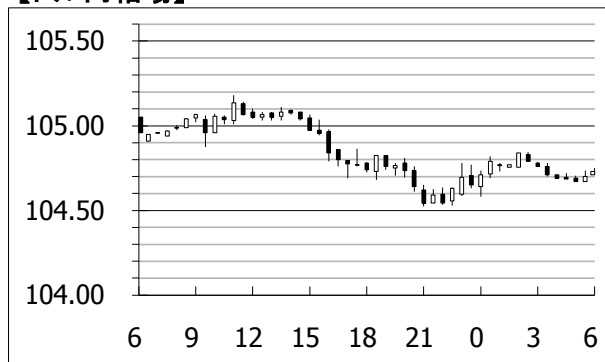
【昨日の指標等】

Date	Time	Event		結果	予想	
9月17日	10:30	豪	雇用者数変化/失業率	8月	111.0k/6.8%	-35.0k/7.7%
	18:00	欧	CPI(前月比/前年比)・確報	8月	-0.4%/-0.2%	-0.4%/-0.2%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	12-Sep	860k	850k
	21:30	米	住宅着工件数/建設許可件数	8月	1416k/1470k	1488k/1512k
	21:30	米	フィデリティ連銀景況	9月	15	15

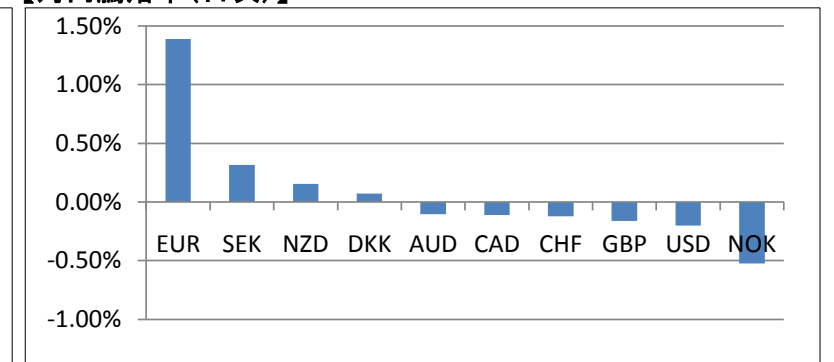
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月18日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	8月 0.2%/-0.4%/-0.1%	0.3%/0.0%/0.4%
	15:00	英 小売売上高(除自動車燃料・前月比/前年比)	8月 0.4%/4.2%	2.0%/3.1%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	8月 0.0%/-1.4%	0.2%/-1.7%
	23:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	9月 75.0	74.1
9月19日	01:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は下値を切り下げる展開。米株先物の下落を背景とした円売りにより値を下げたドル/円は、米新規失業保険申請件数、米8月住宅着工件数が予想比悪化したことを材料に、一時104.53円まで下落。その後は米長期金利の持ち直しもあり、小幅に買い戻され104.73円でクローズ。

本日のドル/円は104円台を中心とした狭いレンジ内での推移を予想する。昨日の値動きから104.50円近辺でのサポートが感じられたものの、FOMCの長期間の利上げ見送り発言からドルの下押し圧力も継続すると考えられ、値幅の大きな動きにはならないと思われる。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル		7	14